



olive・heart

男女共同参画推進室ニュースレター

# olive・heart

香大っこサポーター養成講座 ※次ページに第1回の報告も掲載しています。

## 追加募集しています！

香大っこサポーター養成講座が始まりました。香大の教職員そして学生の子どもの一時預かりを手伝ってくれるサポーターを募集しています。全部で講座は6つ。DVDでの補講も可能です。ぜひあなたの手を貸してください。子ども好きの皆さんを待っています。



日程	時間	科目	担当者
6月1日(水) 終了 DVD補講可	12:30~	香大っこサポーターの活動と個人情報の保持	男女共同参画推進室
	12:50~13:40	仕事も家庭も、安心して続けるために	長安コーディネイター
	13:50~14:25	子どもの発達とあそび★	香川大学教育学部 松本博雄 准教授
6月29日(水) 523教室 (幸町北5号館2階)	13:00~14:00	大学研究者の仕事と研究そして暮らし	香川大学農学部 野村美加 准教授
	14:10~15:40	子どもと楽しく安全に過ごすために★	託児ボランティアあゆみ 梶ヶ谷真知子さん
7月6日(水) 523教室 (幸町北5号館2階)	13:00~14:00	共稼ぎ家庭のイクメンパパのとりくみ★	香川医療生活協同組合 法人本部組合員活動部 岸本大助さん
	14:10~15:40	子どもの病気と看護基礎知識★	へいわこどもクリニック 病児保育はとほっぽ 病児保育担当者

### 目次:

- 香大っこサポーター養成講座 ..... 1
- 男女共同参画推進週間 ..... 2
- 図書コーナー設置 ..... 2
- 香大っこサポーター養成講座報告 ... 2
- 研究者をめざす ..... 3
- 県内女性研究者支援連絡会 ..... 4
- ベビースITTER割引券 ..... 4

## 「初心者マークのパパママ講座」として公開します！



子育てにまだ慣れない新米パパママのために「香大っこサポーター養成講座」を学内の教職員・家族のために「初心者マークのパパママ講座」として公開します。

上記の日程で行う講座の中で★印がついているものについてご参加いただけますので、どうぞお申し込みください。講座終了後、相談コーナーも開設予定です。

参加ご希望の方は男女共同参画推進室（内線1055 または sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp）までお申し込みください。

## 男女共同参画週間 6月23日～29日

男女共同参画推進週間の  
キャッチフレーズは・・・

「チャンスをつかち、  
未来を拓こう」

### 【メモ】国立女性教育会館とは

独立行政法人国立女性教育会館（ヌエック）は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、男女共同参画社会の形成に資することを目的とした独立行政法人です。

### 子どもを預かって 事故の時はどうするの？

香大っこサポーターのサポート中の事故については、香川大学の学生教育研究災害傷害保険（略称：「学研災」）が適用されます。

大学が課外活動として位置付けるボランティア活動として、安心して活動に携わっていただくことができます。また、預かり中の子どもに対しては、原則その子の傷害保険を利用することになっています。

通常のサポートが行われていた場合、学生に事故の責任は問いません。



1999年6月23日「男女共同参画社会基本法」が成立しました。今年でもう12年が経ちます。内閣府男女共同参画局では公布・施行を記念して、男女共同参画週間を定めています。

男女共同参画社会基本法という固い名前の法律ですが、男女の人権が尊重される社会を国・地方公共団体・国民がその責任を果たし、がんばって作って行こうという画期的な法律です。男女共同参画＝Gender equality＝男女平等の社会です。そして、「男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響」をできる限り中立なものとするために、日本社会における制度又は慣行の見直しを促しています。

この法律に基づき、第3次男女共同参画基本計画が昨年12月に策定されています。「2020年に指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%」をめざし、新たに第12分野として「科学技術・学術分野における男女共同参画」が挙げられました。その中で「働きやすい環境整備に向けた取組の支援」や「女性研究者の採用・登用の促進」の目標が定められています。これは香川大学の男女共同参画の取組の大きな裏付けになるものです。男女にかかわらず、教職員にとって、働きやすい環境整備とジェンダーバランスに配慮した職員の採用が求められます。

## 図書コーナーを設置します。

「男女共同参画週間」を機会に、みなさまに男女共同参画について知っていただくため、国立女性教育会館より男女共同参画に関する図書をお借りし、展示することになりました。

6月23日より200冊を入れ替えつつ、1年間展示いたします。貸し出しも可能ですので、ぜひ、さまざまな本を手にとっていただき、男女共同参画への興味を広げていただけたらと思います。



日時 平成23年6月23日(木)～平成24年3月  
場所 幸町地区 中央図書館 2階 ボランティアスペース

展示される図書は、「生き方」「しごと」「セクシュアリティ」「男性学」「人間関係」「コミュニケーション」「大学」「男女共同参画」などの分野200冊 ※9月、12月と入れ替えて展示いたします。学生の卒論にもご利用ください。

## 第1回香大っこサポーター養成講座 ～報告～

平成23年6月1日幸町キャンパスで、「香大っこサポーター養成講座」を開催しました。7名の学生が参加し、「なるほど！」と思う内容がとても多く、自分が出産や育児をする際に生かしていければと思いました」と感想をいただきました。

### 子どもの発達を知ることは、子どもと過ごす時間を豊かにするおやつのようなもの



教育学部  
松本博雄 准教授

3人の子どものお父さんである松本先生が、ご自身の子どもの行動を具体的に例に挙げ、子どもの発達についてわかりやすく説明してくださいました。

お連れ合いが体調を崩したとき、一人で2人の子どもの面倒を見て、シングルで子育てする大変さがわかったこと。何より独りだと子どもの気持ちの切りかえがつかないことなど、イクメン松本先生ならではのエピソードも語られました。

サポーター希望者からは「ボランティア等で子どもと関わる際のヒントが散りばめられていて、とても勉強になりました」、「先生の子どものお話もあって、わかりやすくおもしろかったです」「育児は大変だと思うけれど、今回の話を思い出して、「今」を大切に楽しみたいです」と子どもたちと関わることへの期待が膨らんだ様子が伺われました。

また、現役のパパママ教職員の方からは「今までに考えたことのない角度での話を聞くことができたので良かったです」「生後4か月の娘がいますが、大変参考になりました。幼児期の「つもり」（＝「思い浮かべる」）の考え方は目からウロコでした。」とこちらも大好評でした。

## シリーズ 「研究者をめざすあなたからメッセージ」

なぜ工学系の女性研究者が少ないのかという質問ですが、まず、文系に比べて理系女子が少ないです。そして、博士課程に進学する女子はほとんどいません。企業就職を考えると修士までの進学は有利になりますが、博士課程まで進むとたんに不利になってしまう。さりとて少子化の中、教員の道に進むのも厳しい。女性だけではなく、若手研究者の受け皿が少ないのが現状です。

私は、あまり男女の区別を感じずに育ちました。「女の子なんだから」と両親から言われたこともありません。高専に進学することを進めてくれたのは母でした。数学と理科が得意な理系だったので、中学生で工学系に進むと決めました。女の子の人数が少ないことなど気にもしていなかった。高専卒業後、徳島大学の3年次へ編入し、4年生の研究室への配属で恩師に出会い、研究活動の楽しさに目覚めました。1年では物足らず修士に進学。海外発表等も経験でき、視野がぐっと広がりました。

修士時代に恩師が「博士に行ってみないか」と背中を押してくれました。研究分野で出会った先生方は大変素晴らしい方ばかりで、こんな出会いがあるならと進学を決めたものの、博士課程はそれまでとは全く異なり後悔もしました。博士課程に進んだ他大学の人は優秀な方ばかりで、自分には力がないと思えてきて、求められるレベルはどんどん高くなり、アイデアは出て来ず、こんな研究じゃだめだと本当に苦しかったです。しかし、後輩の教育を任されるようになり、研究教育で後輩が成長していくのが励みになりました。企業では、後輩教育の失敗は企業の損失に繋がりますが、大学ではその人の成長に繋げることができる。大学では、損得ではなく、その人の為になる研究を通じた教育を考えることができるのです。研究だけではなく教育にも興味を持ち、アカデミックでの研究者になりたいと思いました。



工学部  
松下 春奈先生

“失敗は、企業では損失につながるが、  
大学教育では、その人の成長につながっていく”と思う。  
“大切なのは、一生懸命さと真面目さ、そしてコミュニケーション能力”

女性研究者は昔に比べたら得していることも多いです。就職や研究費の面で女性にむけたものが優先して利用できる。しかし、同じ立場の若手研究者として男性が苦勞している現状を思うと、少しうしろめたい気持ちになることもあります。

確かに日本に比べ、海外の理系研究者は女性が多いですが、海外には女性も男性も、研究と家のことを両立できるシステムがある。仕事の量が少ないというよりサポートの手立てが整っている。ハウスキーピングやベビーシッターが利用しやすい。日本では男性が子育てをしたいと思っても、忙しすぎて「育児休暇をください」と言いづらい状況。女性の研究者の採用率を高めたり、研究費を増やしたりだけでは状況は大きく変わらないでしょう。仕事と家のことを両立できる環境を、女性だけではなく、社会全体で考えることが大事だと思います。

今の若い人達にぜひ伝えたいことは、遊ぶのも勉強するのも一生懸命すること。真面目さと一生懸命さはすぐに身につかない。一生懸命やることはかっこいいのだと認識を変えた方がいい。それから、コミュニケーション能力も大きいです。勉強ができて、研究ができて、結局、ものをいうのはコミュニケーション能力。私は、学会活動での人間関係がいい刺激になり、いろいろな価値観、研究分野の現在のトレンドトピックの情報を得ています。チャンスはそこから広がる。しゃべるのが下手なら「聞き上手」になればいいんです。得意不得意ではなく、一生懸命誠実にすることと、人と積極的に関わることを大事にして欲しいですね。

工学部信頼性情報システム工学科へ、1月に赴任されたばかりの松下春奈先生にお話を伺いました。先生のご専門は非線形工学。女性が少ない電気系分野の若手研究者として今後の活躍が大いに期待されます。



## 第2回 香川県内女性研究者支援連絡会

### 香川県内女性研究者支援連絡会

男女共同参画推進室では地域の高等教育機関と連携し地域全体での女性研究者のための環境整備に取り組むことを目指しています。そこで香川県内の各高等教育機関と県内での女性研究者の教育研究の充実のための環境整備に向けた情報交換の場として香川県内女性研究者支援連絡会を設けました。

### 12月に県内男女共同参画シンポジウム開催決定！

平成23年6月15日、第2回香川県内女性研究者支援連絡会を開催しました。

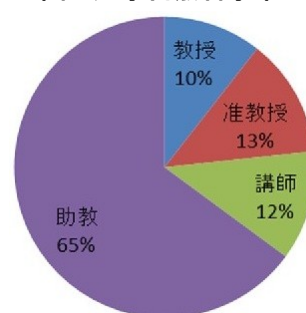
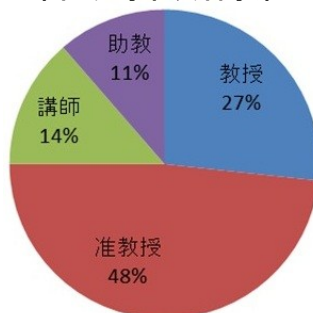
香川短期大学、高松短期大学の女性研究者の方、たかまつ香川高等専門学校の事務職員の方、香川県県民活動・男女共同参画課がご参加くださいました。懸案の県内高等教育機関男女共同参画シンポジウムの実施についてご承諾いただけただため、12月上旬の開催に向けて具体的な計画を立てていくことになりました。また、重要な課題である女性研究者の次世代育成について、2006年に行われた（社）精密工学会画像応用技術専門委員会の「女性技術者・科学者の人材育成の試み」を工学部石井明教授にDVDを交えてご説明いただきました。

香川大学が1月に行った四国の女性研究者の状況調査の報告をいたしました。四国の女性研究者は、自然科学系が65%と高い割合になっており、特に国立大学の自然科学系の職階別分類では、助教ポストの割合が多く、必然的に若年層が多いため、出産育児等との両立支援対策や定期雇用へのキャリアアップに向けた情報や支援が求められます。

「四国圏高等教育機関の  
女性研究者の状況調査」

平成23年1月実施  
四国の24機関が回答  
研究者全数4783名  
内女性881名（18.4%）  
学生・院生全数 55373名  
内女性（41.5%）

四国の女性研究者の職階別分類  
国立大学社会科学系 国立大学自然科学系



## ベビーシッター割引券7月中旬開始！

本学では、昨年度に引き続き、財団法人こども未来財団の行っている「ベビーシッター育児支援事業」を利用して、被雇用者が在宅保育サービスを利用する際の料金の一部を助成し、仕事と子育ての両立を支援する「ベビーシッター割引券発行事業」を開始する予定です。

### 【利用対象者】

本学に在職する職員  
(非常勤の職員の方は社会保険加入者に限ります。)

### 【対象となる子の年齢】

0歳～小学校3年生（障害のあるお子様は6年生まで）

### 【使用条件】

- ・仕事のための家庭内における保育(家庭以外は利用不可)
- ・保育所等への送迎
- ・原則2時間以上の利用が対象となります。

### 【割引額】

1日あたり1,700円  
(1日1枚/1回につき1,700円以上のサービスが対象)



## 7月中旬開始予定！

開始時には別途ご案内いたします。



olive heart

香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1  
北5号館1階

電話：087(832)1055  
内線：1055  
FAX：087(832)1057  
電子メール：

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp  
ホムハート：  
<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>